

日本農業新聞

メーカーと農家、JAを結ぶ

伝言板

メロン栽培で、秀品率、

収量とも過去最高の出来

「コフナ・ソーラー法」

連作障害対策に威力を発揮

コフナ農法普及協議会



亀山昭彦さん

健全に生息する土壌環境を整える土壌消毒法だ。殺虫殺菌と、雑草の発生を防ぐ効果がある。

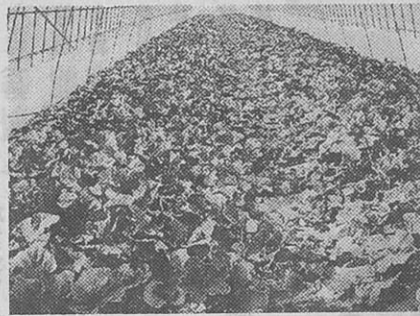
茨城県鹿島郡旭村下太田

コフナ・ソーラー法は、太陽熱で病原菌を直接的に滅殺するとともに、微生物資材「コフナ」の微生物の働きで、病原菌のすみかとなる前作残根など、未熟な有機物を分解促進して、そのすみかを破壊し、作物が

コフナ・ソーラー法は、太陽熱で病原菌を直接的に滅殺するとともに、微生物資材「コフナ」の微生物の働きで、病原菌のすみかとなる前作残根など、未熟な有機物を分解促進して、そのすみかを破壊し、作物が



コフナ・ソーラー法区①と、未処理区②



コフナ・ソーラー法区①と、未処理区②

から九月にかけて、百坪のほ場でコフナ・ソーラー法でほ場処理をした。

春は「アンデスメロン」、秋は「ブルスメロン」を栽培している。



生育の良いアンデスメロン

「本社」茨城県行方郡潮来町「の坂本敏夫専務と、旭村下太田の亀山農士の指導で、昨年の七月から九月にかけてコフナ・ソーラー法でほ場処理をした。

亀山さんは農業歴二十年、目下のベテラン。昨年の七月から九月にかけて、百坪のほ場でコフナ・ソーラー法でほ場処理をした。春は「アンデスメロン」、秋は「ブルスメロン」を栽培している。

果について、亀山さんと小沼さんは、「①農薬の散布は従来より減った②マルチの中の土は大変軟らかくフカフカになって植付けが楽だった③地温が高く、冬期ハウス内の温度調節が楽になった④いつも葉枯れが出た⑤除草剤を一切使わなかった⑥秀品率、収量とも過去最高の出来だった⑦樹勢が違ひ、玉伸びは、無処理のハウスに比べビックリするほど良く、他のハウスにも導入していく予定で、コフナ・ソーラー法を高く評価している。

殊肥料「きくぞうブラドミオン」(チッソ五・九、リン酸四・九、カリ二・七含有)を百八十八キ、百九十五キ、スミカエース(チッソ十、リ

■お問い合わせは、コフナ農法普及協議会 事務局

コフナ・ソーラー法は、太陽熱で病原菌を直接的に滅殺するとともに、微生物資材「コフナ」の微生物の働きで、病原菌のすみかとなる前作残根など、未熟な有機物を分解促進して、そのすみかを破壊し、作物が

〒1100 東京都千代田区大手町二ノ六ノ二 二子モウ株式会社内

コフナ・ソーラー法は、太陽熱で病原菌を直接的に滅殺するとともに、微生物資材「コフナ」の微生物の働きで、病原菌のすみかとなる前作残根など、未熟な有機物を分解促進して、そのすみかを破壊し、作物が

TEL 03-3245-474